

行政事業レビュー(公開プロセス)実施結果

()は平成25年度当初予算額

開催日	事業名	評価結果		とりまとめコメント	
6月17日(月)	大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業 (2,350百万円)	事業全体の抜本的改善	2	事業内容の改善 3 事業全体の抜本的改善 2 現状通り 1	<p>本事業については、「事業内容の改善」が3名、「事業全体の抜本的改善」が2名、「現状通り」が1名という分布であったため、3つの結果の紹介としたいと思います。</p> <p>「事業内容の改善」の主なコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 学部、大学院を区別した戦略が必要 ② 大学の国際競争力増強を主導することが必要。またこれによって投資効果の高い公的助成を行う ③ インターネットの教育利用や学生寮などの整備が必須 <p>「事業全体の抜本的改善」の主なコメントは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 日本人学生の国際化に有益な改革が必要 ② 大学の教育研究水準向上のための評価手法、情報公開の改善が必要。日本人学生の英語授業前後の成績の公表と、さらに大学教育の全般にこの事業がどのような成果があったかということをも明らかにして公表すべき。 <p>「現状通り」のご意見の主なコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ネットワーク作りの取組みが評価できる <p>といったコメントがありました。</p>
		事業内容の改善	3		
		現状通り	1		
	文化芸術の海外発信拠点形成事業 (177百万円)	事業全体の抜本的改善	3	事業全体の抜本的改善 3 現状通り 3	<p>本事業については、「事業全体の抜本的改善」が3名、「現状通り」が3名との分布であったので、「事業全体の抜本的改善」及び「現状通り」の両論併記としたいと思います。</p> <p>「事業全体の抜本的改善」の主なコメントは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 国費事業としては小規模で効果が乏しい。選択と集中による戦略的な取組が必要ではないか。 ② 民間寄付を中心とした仕組みに変えるべき。 ③ 国際的にオープンな拠点であれば、日本人と外国人を区別する必要はない。 <p>「現状通り」とする主なコメントは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 拠点数、招聘者数、対象、滞在日数の拡充が必要ではないか。 ② 他事業との連携が重要である。 ③ 但し、評価の仕方について常に検討を怠らないように継続してほしい。 <p>といったコメントがありました。</p>
		事業内容の改善	—		
		現状通り	3		
	海洋鉱物資源探査技術高度化 (198百万円)	事業全体の抜本的改善	3	事業全体の抜本的改善	<p>本事業については、「事業全体の抜本的改善」が3名、「事業内容の改善」が2名、「現状通り」が1名との結果を踏まえ、「事業全体の抜本的改善」との結論としたいと思います。</p> <p>「事業全体の抜本的改善」の主なコメントは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 基礎研究ではないので、開発・採掘の費用対効果、他地域開発などの分析説明が必要 ② 幅広い研究テーマなので実用と基礎の整理が必要 ③ 商業化には画期的なブレークスルーが必要 <p>といったコメントがありました。</p>
		事業内容の改善	2		
		現状通り	1		
	革新的細胞解析研究プログラム(セルイノベーション) (772百万円)	事業全体の抜本的改善	1	事業内容の改善	<p>本事業については、「事業内容の改善」が4名、「事業全体の抜本的改善」が1名、「現状通り」が1名、との結論を踏まえ、「事業内容の改善」という結論としたいと思います。</p> <p>「事業内容の改善」の主なコメントは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 全て公募で選定すると非効率になる場合があるので、選考方法等を見直すべき。 ② 大型装置の導入を、陳腐化することを踏まえ、導入計画に基づき計画的に進めるとともに事業終了後にも配慮すべき。 ③ 先導研究の選択は、より戦略的な国のビジョンに基づくべき。 <p>とのコメントがありました。</p>
		事業内容の改善	4		
		現状通り	1		
6月18日(火)	英語力の指導改善事業 (176百万円)	事業全体の抜本的改善	3	事業全体の抜本的改善 3 事業内容の改善 3	<p>本事業については、「事業全体の抜本的改善」が3名、「事業内容の改善」が3名との分布であったので、「事業全体の抜本的改善」及び「事業内容の改善」の両論併記としたいと思います。</p> <p>「事業全体の抜本的改善」の主なコメントは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 拠点校におけるモデル事業にとどまって効果が乏しく、一旦廃止して全国展開すべき。 ② 英語指導改善の効果測定が不十分なテストに事業費の半分が使われている。 ③ 少ない対象校に少ない予算を配っても効果は見込めない。 <p>「事業内容の改善」の主なコメントは</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 検定による生徒実態の把握は重要である。 ② 検定受験者をしぼり、教員研修に予算を振り分けるとともに、検定結果の分析を研修内容に反映すべき。 ③ 英語の指導改善に対する補助が少なく、効果が期待できない。 <p>といったコメントがありました。</p>
		事業内容の改善	3		
		現状通り	—		
	頭脳循環を加速する若手研究者戦略的海外派遣事業 (1,522百万円)	事業全体の抜本的改善	2	事業内容の改善 2 事業全体の抜本的改善 2 現状通り 2	<p>本事業については、「事業全体の抜本的改善」が2名、「事業内容の改善」が2名、「現状通り」が2名という分布であったため、3つの結果の紹介としたいと思います。</p> <p>「事業全体の抜本的改善」の主なコメントは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 若手研究者が海外に行きたがらない、或いは行けない要因が解決できていない。 ② 海外で成果を出した者の帰国後のポスト取得を支援すべきである。 ③ 国内における研究機関のネットワーク化を推進すべきである。 <p>「事業内容の改善」の主なコメントは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ネットワークハブとなる機関の強化を目的としてより大規模により少数の機関に絞るべきである。 ② 機関が個人か対象や目的を明確にして実施すべきである。 <p>「現状通り」の主なコメントは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 人材育成に関わる制度を朝令暮改することはマイナスであるため、継続すべき。 ② 採択機関、研究者の意見を聞きつつ改善すべきである。 <p>といったコメントがありました。</p> <p>なお、上記のコメントに共通するものとして、以下の通り集約することとしたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本の大学等の研究機関が、世界のトップクラスの研究機関とネットワークを形成し、自らそのハブとなることを支援することが重要。その観点から以下の通り対象機関の選択と集中を図るべき。 ① 海外の相手機関を一流の機関に絞るべき。 ② 日本の対象組織についてももっと絞るとともに、一機関あたりの支援人数を引き上げるべき。 ③ 双方向でネットワークを形成すべき。 ④ 国内のネットワークの形成及び流動性を促進すべき。
		事業内容の改善	2		
		現状通り	2		
	幼児期の運動促進に関する普及啓発事業 (102百万円)	事業全体の抜本的改善	4	事業全体の抜本的改善	<p>本事業については、「事業全体の抜本的改善」が4名、「事業内容の改善」が1名、「現状通り」が1名との結果を踏まえ、「事業全体の抜本的改善」との結論としたいと思います。</p> <p>「事業全体の抜本的改善」の主なコメントは</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 市町村教育委員会や幼稚園などの体制やニーズにマッチしていない。 ② 執行率も低すぎて望まれておらず廃止すべき。 ③ 政策としての発展や効果が見通せず廃止すべき。 ④ DVD等の作成、配信の方が有効。 <p>といったコメントがありました。</p>
		事業内容の改善	1		
		現状通り	1		